

高松市中央公園再整備基本設計(案)について

～人と人・人とまち・人と未来をつなぐ、都市の顔となる公園～

- 第1章 はじめに
- 第2章 公園基本設計(全体)の考え方
- 第3章 公園施設の概要
- 第4章 基本設計図
- 第5章 概算事業費及びスケジュール
- 第6章 参考

令和6年4月10日
高松市都市整備局公園緑地課

第1章 はじめに

高松市中央公園は、高松市の中心市街地に位置し、市民の憩いの場、交流の場として長く親しまれてきた市を代表する都市公園です。

現在、供用開始後、40年近くが経過し、施設全体の老朽化や樹木の高木化・老木化等が進んでいるほか、施設のバリアフリー化や大規模イベントを開催するにもスペースが狭いという課題があります。

また、近年は、多様な利用者ニーズへの対応や、地域活性化に資する魅力づくりが求められております。

■位置図



■現状と課題

【樹木】○樹木が壁となりまちと公園が分断、
○全体的に暗く、近寄りがたい雰囲気、○衛生害虫被害など



【水辺空間】
既存の滝・せせらぎは、
現在故障中。



【広場】オープンスペースが狭く、
大規模イベントに対応できない。



【休憩施設・トイレ】老朽化・バリアフリー化への対応が必要。



第1章 はじめに（中央公園再整備に向けた取組）

令和元年度から、公募設置管理制度（Park-PFI制度）を活用した再整備についての調査・研究を重ね、令和4年11月に「民間活力を活用した中央公園再整備方針」を策定しました。その後、公募対象施設（カフェ等）の設置等予定者の募集及び選定を行い、令和5年7月に「民間活力をいかした中央公園再整備検討委員会」を立ち上げ、具体的な整備内容の検討を行いました。

取組経緯

R2.3～R2.8	中央公園外5公園サウンディング型市場調査
R2.10～R3.4	Park-PFI導入検討調査
R3.10	中央公園利用実態調査（Park-PFIサウンディング調査） 公園利用者アンケート調査
R4.6～R4.7	市民アンケート調査
R4.9.30 ～R4.11.14	民間活力をいかした中央公園再整備方針 パブリックコメント
R4.12	民間活力をいかした中央公園再整備方針策定、 公募設置等指針の公表
R5.6	株式会社ルーヴ公募設置等計画の認定（告示）
R5.7.27	第1回中央公園再整備検討委員会
R5.8	中央公園再整備に関する意見箱の設置
R5.9.28	中央公園再整備検討委員会先進地視察
R5.10	近隣小学校保護者等へのアンケート調査
R5.11.7	第2回中央公園再整備検討委員会
R6.1.29	第3回中央公園再整備検討委員会
R6.4.10	第4回中央公園再整備検討委員会
R6.4.22 ～R6.5.21	中央公園再整備基本設計 パブリックコメント（予定）
R6.6	中央公園再整備基本設計策定（予定）

市民等の御意見・御要望

中央公園の再整備に関しては、**市民アンケート調査**の実施や「**中央公園再整備に関する意見箱**」を設置するなど、市民等から広く御意見を頂きながら進めてきました。

これまでに、トイレ等公園施設の老朽化対策のほか、休憩スペースや遊具の充実、イベントの開催など多数の御意見を頂いております。

また、**学校関係者へのアンケート**では、見通しが悪く、人気がないことなどを理由に、子ども等を遊ばせることに不安を感じている保護者が多い結果となりました。

他方、樹木伐採に反対する約2,500名分の署名が提出されるなど、既存樹木を保全する御意見も寄せられました。



再整備検討委員会



小学生との意見交換

第2章 公園基本設計(全体)の考え方【基本設計方針】

中央公園の再整備については、老朽化した公園施設の更新を図るとともに、市民に親しまれる公園として、5つの視点を加えて取り組むことにより、市の新たな顔となる魅力的な公園を目指します。

① 安全・安心の確保

子どもからお年寄り、障がい者、外国人などすべての人が安心して利用できる公園を目指します。

■具体的取組

- ・ユニバーサルデザインの導入
(バリアフリートイレ、車椅子利用者用駐車施設、インクルーシブ遊具、段差解消など)
- ・防犯対策(見通し確保、夜間照明、防犯カメラ設置など)
- ・防災機能の確保 など

② 新たなにぎわいの創出

民間活力の導入や利用者ニーズに対応した施設整備により、新たなにぎわいを創出します。

■具体的取組

- ・飲食店(カフェ)の設置、キッチンカースペース
- ・イベント広場の確保
- ・魅力的な遊具や休憩休息施設等の設置
- ・アイパル香川との連携 など

⑤ 持続可能な管理運営体制

再整備に合わせて、民間主導の持続可能な管理運営体制を構築することを検討します。
また、市民に身近で、日常の交流の場となる公園を目指します。

■具体的取組

- ・民間による公園の一体的管理運営
- ・周辺施設や商店街との連携強化、情報発信
- ・利用ルールの弾力化
- ・ボランティア活動の推進
- ・市民イベントの開催 など

④ 地域課題への対応

中央公園の再整備を通して、人口減少・少子超高齢化、中心市街地活性化、環境問題などの地域課題にも対応していきます。

■具体的取組

- ・子育てしやすい環境整備
- ・緑地面積の確保や省エネルギー化など環境への配慮
- ・分煙施設 など

③ 景観・質の向上

高松市の顔に相応しい、明るく、開放感のある公園を目指します。

また、中央公園が持つ自然景観を継承しつつ、公園全体の高質化を図るなど、市街地景観の向上に取り組みます。

■具体的取組

- ・デザイン性のあるトイレ
- ・ライトアップによる夜間景観の演出
- ・モニュメントの積極的活用
- ・既存樹木の保全及び新たな植栽
- ・花壇、ウッドデッキ整備 など

第2章 公園基本設計(全体)の考え方【ゾーニング】

- 公園の歴史、みどり、既存施設を可能な限りいかした施設配置にします。
- 商店街側（中央通り側）のメインエントランスを中心に、南西及び南東からもアクセスしやすいよう、エントランスを設け、歩道と公園に一体性を持たせることで、公園内への動線を確保します。
- 公園中央部に多目的芝生ひろばを設け、その南側に3つの広場（木陰ひろば・みんなのひろば・わんぱくひろば）配置することで、公園内の回遊性を確保します。
- 公園北側にカフェを配置し、公園の教養施設であるアイパル香川との連携により、にぎわいの相乗効果を発揮させ、芝生広場と一体となったシンボルゾーンを形成します。
- 公園の南エリア及び西エリアは、四季折々の自然とふれあえる空間を確保します。

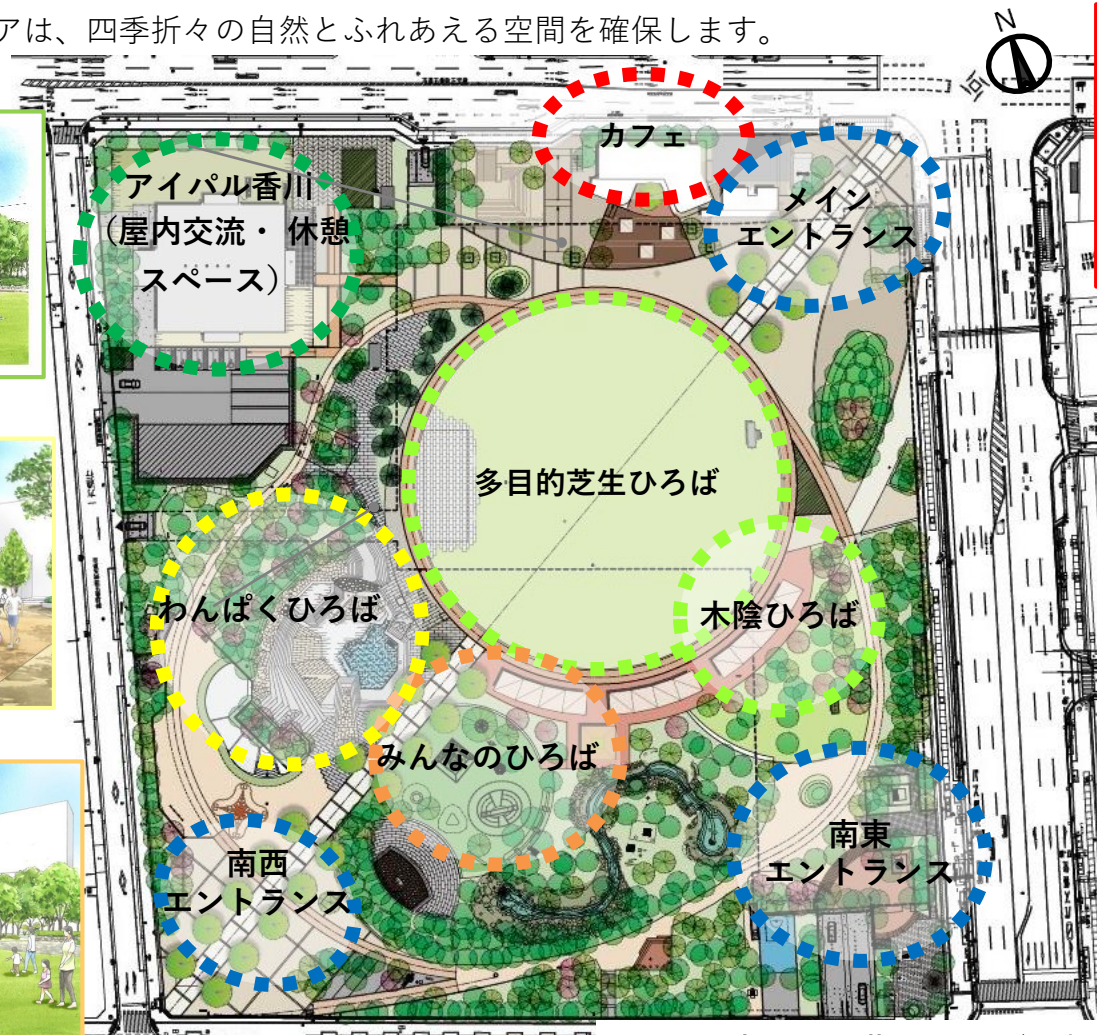
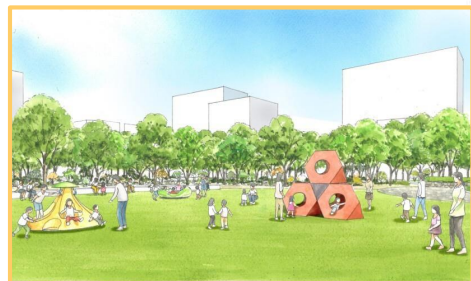
●多目的芝生ひろば



●わんぱくひろば



●みんなのひろば



●カフェ



●メインエントランス



●木陰ひろば



※図・写真は現段階のイメージであり、変更となる可能性があります。

第2章 公園基本設計(全体)の考え方【公園施設計画】

アイパル香川



車椅子使用者用駐車施設



写真：高松市立りんくうスポーツ公園

トイレ



噴水



写真：京都府亀岡運動公園

滑り台



写真：南池袋公園

インクルーシブ遊具

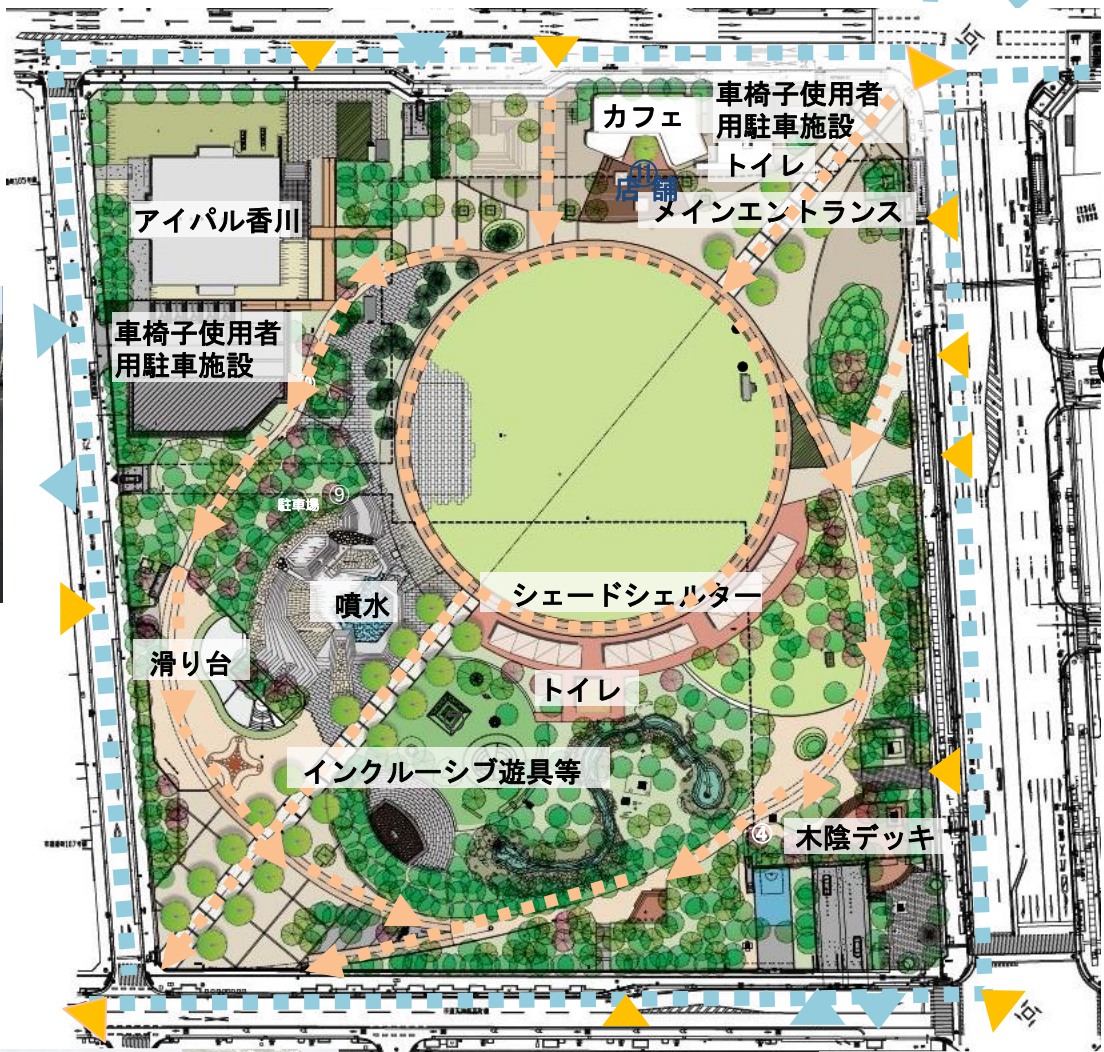


写真：綾川町やどん公園

木陰デッキ



写真：南池袋公園



カフェ



南池袋公園（豊島区公園緑地課提供）

メインエントランス



資料提供：名古屋市みどりが丘公園

シェードシェルター



写真：神戸市東遊園地

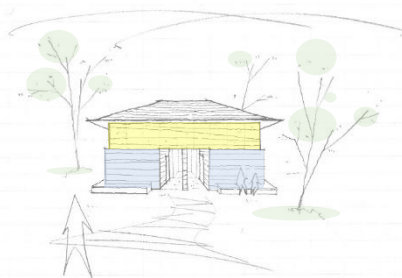
凡例

- 周辺からの園内へのアクセス動線
- 園内動線
- 出入口（来園者）
- 車両出入口

第3章 公園施設の概要【トイレ・カフェ・植栽】

トイレ

公園中央部のトイレは、建物自体が発光し、防犯機能を有するとともに、園内を優しく照らすことで、幻想的な雰囲気を出す。また、壁面に庵治石等を使用するなど、デザイン性と個性を持ち合わせた、公園のランドマークになる建物にする。



※公園中央部のトイレは、高松市職員(建築職)によるデザインコンペを実施し、デザインを決定。

カフェ

周辺の樹木や芝生広場と調和したデザインで、誰もが安心して利用できるバリアフリーのカフェを設置する。

店舗を活用した市民イベントの開催等新たなにぎわいを創出する。



設置者：株式会社ルーヴ

植栽

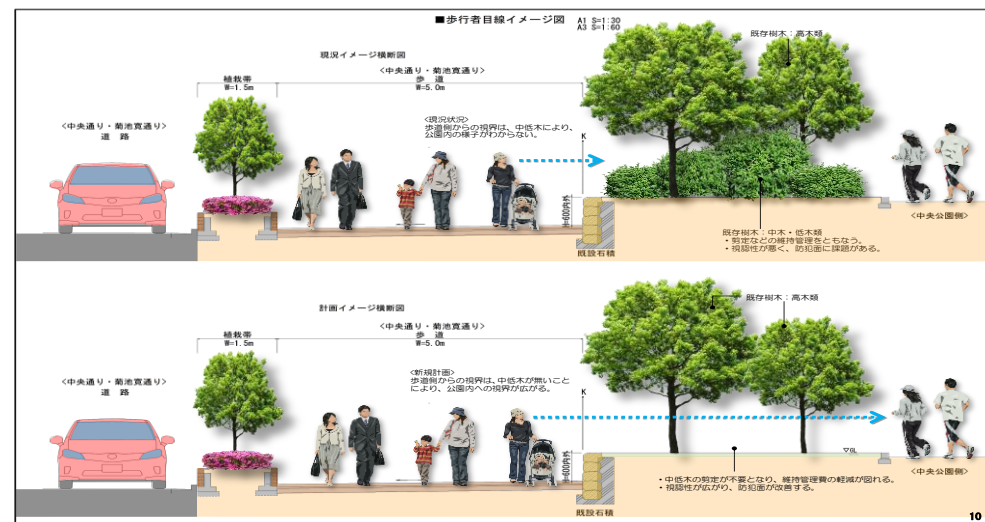
- 既存樹木のうち、施設整備により支障となる樹木のほか生育環境の改善(間引き)や防犯上問題となっている樹木を除き、基本的には保全することを基本方針とする。
- 撤去した樹木については、公園内外への移植や再利用・資源化等を検討する。
- 公園の軸線となる北東から南西への対角線上には新植を行い、新たなランドスケープを創出する。
- ※再整備後の樹木(高木)の総数は、現在の7割程度になる見込み。



公園の対角線(軸線)上には、まっすぐな樹形で紅葉が美しい落葉広葉樹(アメリカフウなど)を植栽する。

(資料提供：名古屋市みどりが丘公園)

○死角となっている箇所や風通しの悪い箇所の整備イメージ



照明施設

- 夜間においても、来街者等の交流の場となり、安心してくつろげる、空間を提供するため、公園全体をライトアップします。
- 特に、エントランス付近や園路沿いには、照明による演出を行い、来街者が立ち寄りたくなる雰囲気を出し、公園のイメージアップを図ります。
- 照明施設は、環境や維持管理費に配慮し、省エネ効果が高い製品を採用します。

凡例	
	アップライティング照明
	照明灯 (スポットタイプ)
	照明灯 (スポットタイプ)
	ソーラー照明灯
	陰影照明
	ライン照明
	畜光材によるライトアップ
	建築間接照明



多目的芝生ひろばから
南西エントランスを望むイメージ



第4章 基本設計図【イメージパース】

わんぱくひろば



第4章 基本設計図【イメージパース】

多目的芝生ひろばから南西エントランスを望む



カフェ





鳥瞰図（夜間）

第5章 概算事業費及びスケジュール【概算事業費】

■中央公園再整備に係る事業費

事業費 約12.8億円（設計費等を含む）

注1）上記金額はR6.3時点の概算額で、今後、物価上昇等により変動する可能性があります。

注2）事業費には、実施設計費及び民間事業者が整備する特定公園施設※1の取得費を含む。

注3）民間単独事業である民間施設（カフェ等）の整備費は含まない。

※1 民間事業者が、民間施設（カフェ等）と一体的に整備する、一般公園利用者向けの公共施設（トイレ、休憩所など）。

■財源の考え方

事業の実施にあたっては、国の補助金（社会課題対応型都市公園機能向上促進事業・補助率1/2）を活用する。

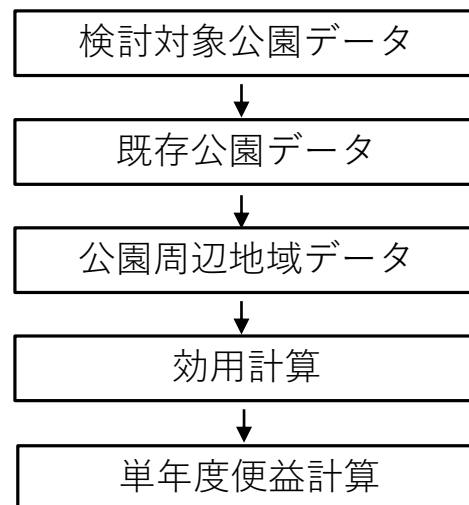
また、市負担分についても、普通交付税措置の対象となる起債（地方債）を活用する。

公園整備費 (民間のカフェ等を除く)	国(1/2)
	市(1/2)

■費用対効果分析（費用便益分析）

費用便益比は1より大きい場合、発生する便益の方が生じる費用より大きくなり、社会経済的な観点から見た場合、実行可能性があることを意味する。

便益計測手順



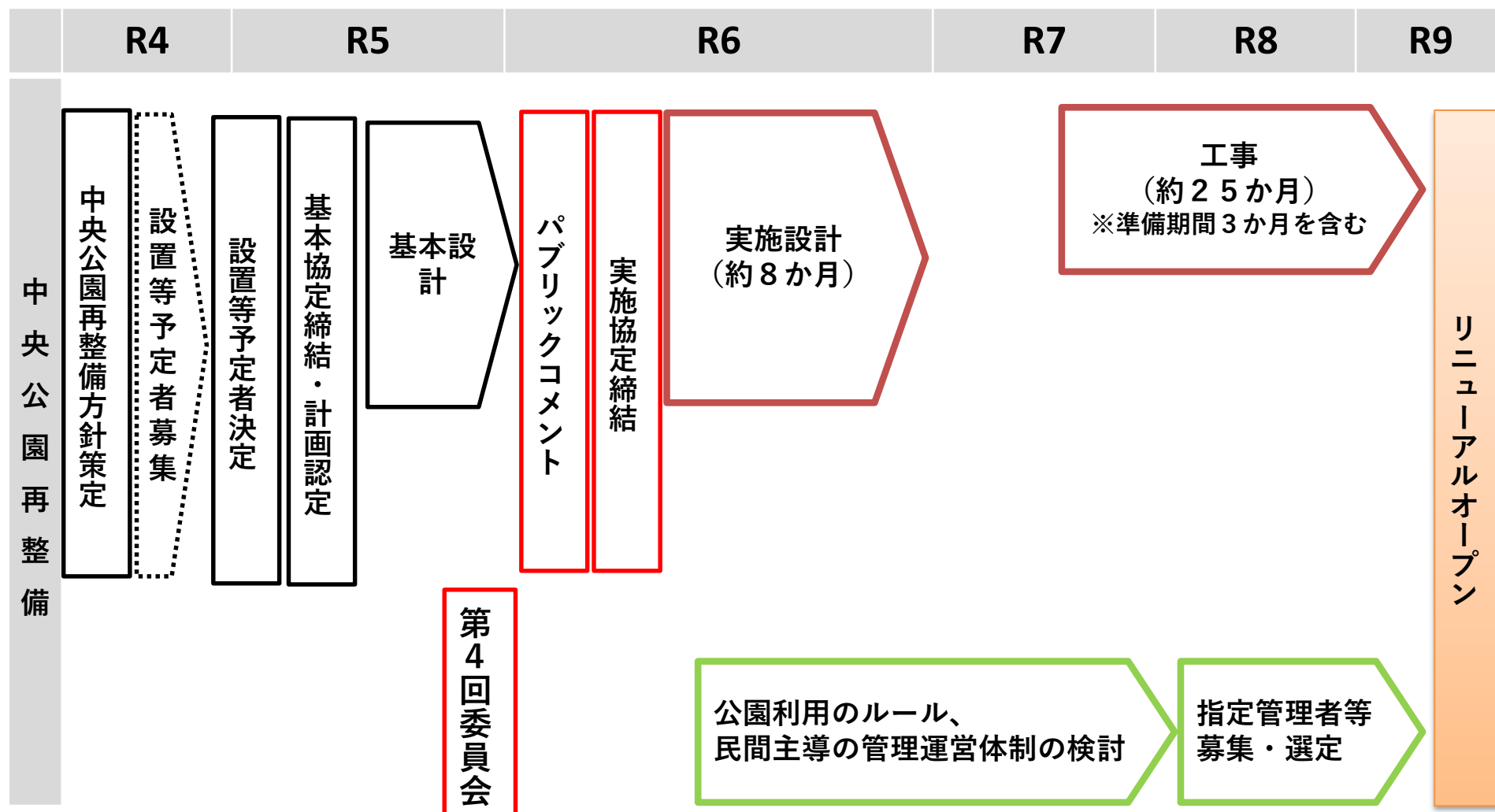
中央公園再整備
B/C=2.9>1.0

※3 「改定第2版小規模公園費用対効果分析手法マニュアル」
(平成29年4月 国土交通省都市局公園緑地・景観課
(平成30年一部改訂) に準拠

第5章 概算事業費及びスケジュール【スケジュール】

中央公園再整備については、令和6年度に実施設計を行い、令和7年秋から工事に着手し、令和9年夏のリニューアルオープンを目指します。

■中央公園再整備スケジュール（案）



※上記スケジュールは、予算や契約手続き等の状況により変更となる可能性があります。